

ネッケン スペラナイトシリーズ | スペリ止め塗料 (一液型既調合タイプ)

合成特殊ゴムと合成樹脂及びスペリ止めの骨材との組み合わせによる一液型の既調合タイプのすべり止め塗料で、各種素材との密着性が良く、従来のすべり止め塗料より適用範囲が広がっています。鉄材には最良の密着性を有します。

■ 特長 ■

K-888 …… 難燃性、耐磨耗性、耐水性、耐候性に優れた強靱な塗膜を形成します。用途としてスリップ事故が起こりやすい非常階段、駐車場、船舶のデッキ等が最適です。

K-666 …… 一般塗料を塗装する要領で簡単に塗装できます。

KPプライマー …… スペラナイトの鉄面専用一液型変性エポキシ樹脂のプライマーです。スペラナイト各種との密着性が良好です。

新製品 ACプライマー …… 従来のスペラナイトKPプライマーの密着性・防錆力を向上させた鋼板用二液型変性エポキシプライマーです。

■ 荷姿 ■

スペラナイト各種 …… 20kg, 4kg

KPプライマー …… 16kg, 4kg

ACプライマー …… 16kgセット, 4kgセット

各種専用シンナー …… 16ℓ, 4ℓ

※主剤・硬化剤の別売は行っておりません。

■ 商品内容 ■

商品名	色調	膜厚 (μm)	塗装用具	希釈率 (重量%)		塗装間隔 (20℃)		標準使用量 (kg/m ² ・回)		塗装回数 (回)	仕上り面
				刷毛	吹付	最短時間	最長時間	刷毛	吹付		
K-888	標準各色	800~1000	コテ 砂骨材用ローラー	5~15	—	4時間	—	1.5kg	—	2	荒目
K-666	標準各色	400~500	刷毛 砂骨材用ローラー	0~5	5~10	4時間	—	0.5kg	1.0kg	2	中目
KPプライマー	グレー	20~30	刷毛、吹付 短毛ローラー	5~10	5~10	4時間	7日	0.20kg	0.25kg	1~2	グレー
ACプライマー	グレー	30	刷毛、吹付、ローラー	5~10	5~10	4時間	7日	0.16kg	0.20kg	1~2	グレー

●スペラナイトK-888及びK-666にはスペラナイトシンナーを使用してください。
●スペラナイトKPプライマー及びACプライマーにはスペラナイトプライマーシンナーを使用してください。
※素材の適性に関しては当社までご確認ください。

● スペラナイト標準色



K-888 / 荒目



K-666 / 中目



●クロムグリーン以外は、若干納期がかかります。
●上記カラー見本は印刷の為実際の色とは多少異なることがありますのでご了承ください。

スベラナイト鉄素材面への塗装

工程	No	項目	作業内容
		作業に入る前に	この作業を行う時の気温は5℃以上40℃以下、湿度は85%以下の換気の良い所で行ってください。
前 処 理	①	素材確認	素材の状態をよく確認してください。特に水がかぶっていた等の用件があれば、水を除き素材をよく乾燥させてください。
	②	サンディング	素材上の錆、旧塗膜を電動工具等を用いて完全に除去してください。錆、旧塗膜は密着性を低下させかつ耐久性を低下させますので確実に除去してください。(ISO規格St3以上)
	③	シンナー拭き	素材全面をウエスにシンナーをしみ込ませてふき取ってください。特に、油污れ、付着ゴミ、研磨粉等の汚れを除去してください。
塗 装	①	プライマー塗布	KPプライマー又はACプライマーを塗装面に刷毛、スプレーを用いて、まんべんなく塗装してください。
	インターバル		4時間以上7日以内にスベラナイトの塗布に入ってください。
	②	一回目塗布	K-888はコテ、砂骨材用ローラーを使用して塗布してください。 K-666は刷毛、砂骨材用ローラー、吹き付けにて塗布してください。
	インターバル		4時間以上放置の後2回目塗布に入ってください。
	③	二回目塗布	K-888はコテ、砂骨材用ローラーを使用して膜厚を均一に、仕上げ肌を調整しながら塗布してください。 K-666は刷毛、砂骨材用ローラー、吹き付けにて膜厚を均一に、仕上げ肌を調整しながら塗布してください。
	インターバル		塗装終了後4時間は塗膜表面にダメージを与えるような事はしないでください。
乾 燥	塗膜上 歩行可能時間		気温10度では28時間 気温20度では20時間 気温30度では12時間
	車両等の通行できる可能時間は歩行可能時間の2倍必要です。		



立体駐車場床面 K-888塗布



ステンレス階段 K-666 ローラー塗布

スベラナイト使用注意事項

- ① 塗装前、素材表面から水分を必ず除去してください。
- ② 砂骨材用ローラーの使用は耐溶剤性が悪い為、一度の使い捨てとと考えてください。
- ③ スベラナイトは被塗物の形状、塗装方法により使用量が異なります。
- ④ 養生日数は単品仕様の仕様書をご覧ください。
- ⑤ 気温5℃以下あるいは湿度85%以上では塗装しないでください。
- ⑥ 塗料は開缶後、容器の底の沈殿物を確認のうえ均一になるまでよく攪拌混合してください。
- ⑦ 保管は密閉して通風のよい危険物倉庫に火気厳禁で保管してください。